

金属プレス研修塾 近江産業を研修

日 時：令和7年2月7日（金）午後2時～4時
訪 問 先：近江産業株式会社 本社・鶴浜鉄工センター （大阪市大正区鶴町4-13-13）
内 容：挨拶、会社説明、鶴浜鉄工センター見学、質疑応答など
参 加 者：21名（塾生 18名、関係者 3名）

金属プレス研修塾は11月に製鉄所（神戸製鋼所）にて鉄鋼材料の製造工程の研修を行ないましたが、続けて今回は近江産業株式会社を訪れてコイルセンターの研修を行ないました。

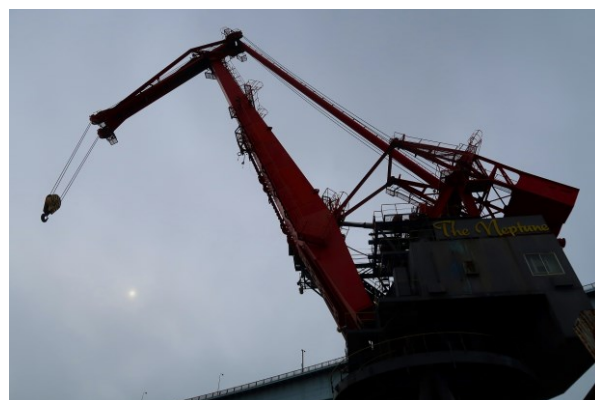
近江産業株式会社は1950年（昭和25年）10月に設立、資本金1億円、従業員約100名のコイルセンターです。コイルセンターとは鉄鋼メーカーで製造された鋼帯（通常「コイル」）を仕入れ、お客様向けに加工して販売する鉄鋼流通加工業者を指します。お客様の仕様に基づいてコイルを輪切りにする加工をスリット加工、鋼板（以下、シート）にする加工をレバラー加工、そのシートを更に小さなシートにする加工をシャーリング加工と呼びます。

近江産業株式会社の特徴として母材は船で岸壁から荷卸しされ輸送の無駄がなくレバラー、スリットと工程が流れることです。また材料販売だけでなく併設された近江テクノメタル株式会社では、抜き・曲げ・プレス・溶接などの板金やレーザー加工も一貫して行うことができ、納期短縮やコスト削減が強みです。

見学を通して一番印象的なことは安全面です。工場内の随所に安全に対する配慮と工夫が見られ、作業者同士の挨拶では「ご安全に」との声掛けと共にピースサインをして騒音がする中でも作業員同士のコミュニケーションが取られていました。



見学中の説明



岸壁から材料を搬入するクレーン



集合写真（本社の玄関前）